

令和7年度 第7回

希望郷いわてモニターアンケート質問書

課題名	ボランティアに関する意識調査
-----	----------------

令和7年10月

岩手県保健福祉部地域福祉課

※この質問書は控えとしてお持ちいただき、回答用紙に答えをお書きください。

ボランティアに関する意識調査

岩手県保健福祉部地域福祉課

I 趣旨

アンケートの目的について

県では、令和6年3月に策定した「第4期岩手県地域福祉支援計画」において、「互いに認め合い、共に支え合いながら、誰もが安心して暮らし、幸福を実感できる地域共生社会の実現」を基本理念に掲げ、同計画に基づき、地域住民による自主的活動、ボランティアや福祉活動を行うNPO等の取組など、様々な担い手が主体となって地域の福祉課題に参画できるよう、取組の支援等を行うこととしています。

ボランティアやNPOが継続性を持ちながら活動していくためには、主体的に福祉活動を担う人材の養成が必要です。

このため、本調査は、ボランティアに関する県民の皆様の意識を把握し、今後のボランティア活動推進のための課題を探り、ボランティア人材の養成に向けた方策を検討するための参考とさせていただくものです。

御多忙のところ誠に恐縮ですが、趣旨を御理解の上、御協力いただきますようお願い申し上げます。

II 質問

問1 あなた自身のことについてお聞きします。

(1) 性別

- ① 男
- ② 女
- ③ その他
- ④ 答えたたくない

(2) 年齢

- ① 18～29歳
- ② 30～39歳
- ③ 40～49歳
- ④ 50～59歳
- ⑤ 50～69歳
- ⑥ 70歳以上

(3) 就労の状況

- ① 企業（被雇用者）
- ② 公務員
- ③ 団体職員（社会福祉法人等を含む）
- ④ N P O ・ N G O 職員
- ⑤ 自営業
- ⑥ 主婦・主夫（仕事を持っていない方）
- ⑦ 定年退職後の方
- ⑧ 学生
- ⑨ 仕事に就いていない
- ⑩ その他

問2 ボランティア活動に興味・関心がありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- ① 興味・関心がある（→ **問3** にお進みください）
- ② 興味・関心がない（→ **問15** にお進みください）

問3 **問2**で①を選択された方にお聞きします。

過去5年間でボランティア活動をしたことがありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- ① したことがある（→ **問4** にお進みください）
- ② したことがない（→ **問11** にお進みください）

問4 **問3**で①を選択された方にお聞きします。

参加したボランティア活動の分野は何ですか。あてはまるものを全て選んでください。

- ① 高齢者の福祉活動（高齢者の話し相手や介護、送迎等車の運転など）
- ② 障がい者の福祉活動（障がい者の介護、手助けや手話・点訳など）
- ③ 子育て（乳幼児）に関する活動（子育てサロンや乳幼児の保育・世話など）
- ④ 青少年（児童）の健全育成に関する活動（不登校児童支援、児童の学習支援、体験学習）
- ⑤ 健康や医療に関する活動（病院や保健機関等でのボランティアなど）
- ⑥ 教育、文化、スポーツ振興（P T A活動、少年野球のコーチ、社会人講師、おまつり、郷土芸能の保存、郷土の歴史編纂など）
- ⑦ 地域の美化・環境保全に関する活動（道路・公園や河川の美化・清掃、自然保護、

リサイクルなど)

- ⑧ 災害時のボランティア活動（現地での活動、援助物資や資金の募集）
- ⑨ 防災、防犯、交通安全など、地域社会を暮らしやすくするための活動
- ⑩ 人権擁護に関する活動（DV・虐待防止、自殺防止、女性の抱える問題、差別撤廃など）
- ⑪ 国際交流・国際協力に関する活動（日本にいる外国人の支援、異文化交流、海外での地域開発・福祉活動など）
- ⑫ まちづくりなどに関する活動（まちづくり協議会・コミュニティ協議会等の活動など）
- ⑬ 自治会、町内会、民生委員・児童委員、県・市町村社会福祉協議会、子ども会等の活動
- ⑭ その他（具体的に御記入ください）

問5 ボランティア活動に参加した理由は何ですか。あてはまるものを全て選んでください。

- ① 何か楽しいことをしたかった
- ② 今までの生活とは違うことをしたかった
- ③ 地域や社会を知りたかった
- ④ 仲間づくりがしたかった
- ⑤ 自分の知識や技術を活かす機会がほしかった
- ⑥ 生きがいになるものがほしかった
- ⑦ 自分の人格形成や成長につながることをしたかった
- ⑧ 自分自身の関心や趣味の活動から自然につながった
- ⑨ 現在行っている活動に関係することについて、個人的な強い経験があった
- ⑩ 困っている人を助けたいと思った
- ⑪ 社会やお世話になったことに対する恩返しをしたかった
- ⑫ 地域や社会を自分たちで住みよくしたり、改善していく活動に関わりたかった
- ⑬ 非営利活動や社会貢献活動というものに関心があった
- ⑭ 友達や仲間に誘われた
- ⑮ 学校・職場で勧められた
- ⑯ 特に理由はなく、なんとなく始めていた
- ⑰ 暇だったから
- ⑱ その他（具体的に御記入ください）

問6 ボランティア活動の情報について知ったきっかけは何ですか。あてはまるものを全て選んでください。

- ① テレビ
- ② 新聞
- ③ インターネット
- ④ SNS (X、Facebook、Instagram 等)
- ⑤ 市町村や県の広報
- ⑥ 職場、所属団体への案内
- ⑦ その他（具体的に御記入ください）

問7 ボランティア活動をしている曜日、時間帯のパターンについてお聞きします。

(1) 曜日について、特にあてはまるものを1つ選んでください。

- ① 平日に活動している
- ② 土日祝日に活動している
- ③ まとまった休暇や年に特定の期間に活動している
- ④ 特に決めていない

(2) 時間帯について、特にあてはまるものを1つ選んでください。

- ① 早朝 ② 午前中 ③ 午後 ④ 夕方 ⑤ 夜間 ⑥ 特に決めていない

問8 1か月に何時間くらいボランティア活動をしていますか。あてはまるものを1つ選んでください。（実際に活動している時間や、活動のための打ち合わせの時間等ボランティア活動に関する全ての時間を含めた時間）

- ① 5時間未満
- ② 5時間以上10時間未満
- ③ 10時間以上20時間未満
- ④ 20時間以上30時間未満
- ⑤ 30時間以上40時間未満
- ⑥ 40時間以上50時間未満
- ⑦ 50時間以上

問9 ボランティア活動を行っているエリアについて、特にあてはまるものを1つ選んでください。

- ① 小学校区・中学校区などの範囲における活動
- ② 市町村全域を範囲とした活動
- ③ 市町村域を超えた活動（県外・海外など）
- ④ 在宅での活動
- ⑤ 活動エリアは特に定まっていない

問 10 ボランティア活動を通じて得たことやしてよかったことは何ですか。あてはまるものを全て選んでください。

- ① 活動自体が楽しい
- ② 息抜きやストレス解消になっている
- ③ 心身ともに健康であり続けることができている
- ④ 新しい自分を発見できた
- ⑤ 新しい知識や技術を習得することができた
- ⑥ 自分の人格形成や成長にプラスになっている
- ⑦ 生きがいを得ることができた
- ⑧ 社会に対する見方が広がった
- ⑨ 多くの仲間ができた
- ⑩ 地域社会とのつながりをつくることができた
- ⑪ 人と協力したり連携したりする楽しさを知った
- ⑫ 自分により自信が持てるようになった
- ⑬ 自分の中の偏見や差別意識などが薄らいだ
- ⑭ 人との接し方や、人間関係がより円滑になった
- ⑮ 自分の住んでいる町に愛着を感じるようになった
- ⑯ 自分が社会や他の人に役立っていることを実感できた
- ⑰ 自分たちの力で社会や地域を住みやすくしたり改善できると実感できた
- ⑱ 社会や地域に対して大切な問題提起をすることができた。
- ⑲ ボランティア活動が社会の中で必要不可欠なものであることを実感した
- ⑳ 家族や友人等身近な人から評価された
- ㉑ 学校・職場や公的機関から評価された
- ㉒ その他（具体的に御記入ください）
- ㉓ 特にない

問 15 にお進みください。

問 11 問3で②を選択された方にお聞きします。

ボランティア活動に参加したことがない理由は何ですか。あてはまるものを全て選んでください。

- ① 子育て、介護、子どもの勉強等で忙しい
- ② 学校や仕事が忙しい
- ③ 家族の反対にあった

- ④ 他に興味がある趣味などで活動に時間を割くことができない
- ⑤ 一人で参加しづらい
- ⑥ 受け入れ態勢に不安がある
- ⑦ 興味・関心がある活動が募集されていない
- ⑧ 健康上の理由
- ⑨ その他（具体的に御記入ください）

問12 ボランティア活動として、特に興味・関心がある分野は何ですか。あてはまるものを1つ選んでください。

- ① 高齢者の福祉活動（高齢者の話し相手や介護、送迎等車の運転など）
- ② 障がい者の福祉活動（障がい者の介護、手助けや手話・点訳など）
- ③ 子育て（乳幼児）に関する活動（子育てサロンや乳幼児の保育・世話など）
- ④ 青少年（児童）の健全育成に関する活動（不登校児童支援、児童の学習支援、体験学習）
- ⑤ 健康や医療に関する活動（病院や保健機関等でのボランティアなど）
- ⑥ 教育、文化、スポーツ振興（PTA活動、少年野球のコーチ、社会人講師、おまつり、郷土芸能の保存、郷土の歴史編纂など）
- ⑦ 地域の美化・環境保全に関する活動（道路・公園や河川の美化・清掃、自然保護、リサイクルなど）
- ⑧ 災害時のボランティア活動（現地での活動、援助物資や資金の募集）
- ⑨ 防災、防犯、交通安全など、地域社会を暮らしやすくするための活動
- ⑩ 人権擁護に関する活動（DV・虐待防止、自殺防止、女性の抱える問題、差別撤廃など）
- ⑪ 国際交流・国際協力に関する活動（日本にいる外国人の支援、異文化交流、海外での地域開発・福祉活動など）
- ⑫ まちづくりなどに関する活動（まちづくり協議会・コミュニティ協議会等の活動など）
- ⑬ 自治会、町内会、民生委員・児童委員、県・市町村社会福祉協議会、子ども会等の活動
- ⑭ その他（具体的に御記入ください）

問13 ボランティア活動に参加しやすいと思う曜日及び時間帯についてお聞きします。

（1）曜日についてあてはまるものを1つ選んでください。

- ① 平日
- ② 土日祝日
- ③ まとまった休暇や年に特定の期間

④ 特にない

(2) 時間帯についてあてはまるものを1つ選んでください。

- ① 早朝 ② 午前中 ③ 午後 ④ 夕方 ⑤ 夜間 ⑥ 特にない

問 14 ボランティア活動に参加をしてみたいエリアについて、あてはまるものを全て選んでください。

- ① 小学校区・中学校区などの範囲における活動
- ② 市町村全域を範囲とした活動
- ③ 市町村域を超えた活動（県外・海外など）
- ④ 在宅での活動
- ⑤ 特にない

問 15 充実したボランティア活動をしていくために、どのような社会的な支援や環境整備が必要だと思いますか。あてはまるものを全て選んでください。

- ① 活動に必要な知識や技術を研修できる機会があること
- ② 活動に関して気軽に相談できる窓口が整備されていること
- ③ 活動者同士の交流機会
- ④ 活動の機会やボランティア団体・グループに関する様々な情報紹介
- ⑤ ボランティアセンター職員やコーディネーター等の受け入れ側の体制・能力の向上
- ⑥ ボランティア休暇等の制度の創設・拡大
- ⑦ 活動や研修に必要な経費の援助
- ⑧ 活動に対する社会的な理解
- ⑨ 活動の経験が社会的な資格取得につながること
- ⑩ 活動の経験が進学・就職時に評価されること
- ⑪ その他（具体的に御記入ください）
- ⑫ 特にない

問 16 ボランティア活動の募集の仕方について、どのような方法が必要だと思いますか。あてはまるものを全て選んでください。

- ① テレビ
- ② 新聞
- ③ インターネット
- ④ SNS（X、Facebook、Instagram 等）
- ⑤ 市町村や県の広報
- ⑥ 職場、所属団体への案内

⑦ その他（具体的に御記入ください）

問 17 今後参加してみたいボランティア活動がありましたら、御記入ください。（自由記載）

質問は終わりです。御協力ありがとうございました。